

日本結核病学会九州支部学会

—— 第81回総会演説抄録 ——

平成30年10月5・6日 於 長崎ブリックホール（長崎市）

（第81回日本呼吸器学会九州支部
日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会 と合同開催）

会 長 柳 原 克 紀（長崎大学大学院 病態解析・診断学）

—— 一 般 演 題 ——

1. 肺結核に結核性痔瘻を合併した1例 伊井敏彦・佐野ありさ・白濱知広・宇都加寿子・井手口優美（NHO 宮崎東病呼吸器内）塩屋敬一（同神経内）
39歳男性。X年12月より咳嗽，喀痰と肛門部の違和感があり，痔瘻と診断され，まず排膿，翌月根治術を施行された。肺野の異常影のため術後当科初診。喀痰および

痔瘻の膿の塗抹陽性，培養陽性のため，肺結核（bⅡ2），結核性痔瘻と診断し，HRZE4剤内服を開始した。結核性痔瘻は肺結核の診断時に判明し，胸部症状より遷延した。結核性の痔瘻は稀な病態であるが，胸部症状を伴う場合，難治性の場合には鑑別すべきである。

